

視点を変えてみたら、との思いで、生きもののお付き合いの参考にどうぞ。

○ぶつぶつぶやき○ ④④

暑いと、少しでも涼しい場所を求めてしまうのですが、木陰と言うのは実にありがたいなあと思うのです。日向から木陰に入ると、本当にほっとします。木の葉の遮光の威力は大したものだと思うわけです。木としては、葉っぱを目いっぱい広げ光合成に努めているわけですが、そのお陰で他の生きものは涼を得ることができる。

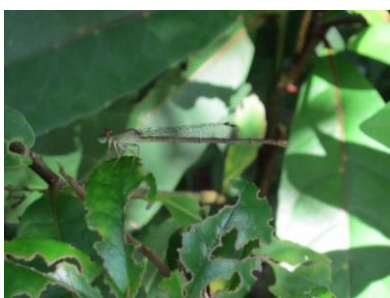
周りをアスファルトの道路に囲まれた公園も、土の地面と木々に囲まれているだけで、道から公園の中に入ったときの体感温度がスッと下がるのです。

真夏の真昼などは、生きものたちもあえて活動せず、出来るだけ涼しい場所で休んでいるのでしょうか、元気な（あるいはお腹がすいた）スズメたちは、なるべく木陰でエサ取りをしていました。水辺近くの植え込みの中などを覗くと、ひっそりとイトトンボが休んでいたりします。

植物からいただく恩恵は様々ありますが、この涼しさと言う恩恵は、盛夏においては一段とありがたいものですね。くさんじゃく>



大樹の木陰



休憩中のアオモントンボ♀



公園のスズメたち



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦

〒814-0144 福岡市城南区田島 3 丁目 7 番 14 号

田村の自宅内 TEL : 092-844 - 4381

URL : <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL : <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会 99★

春日公園で、生きものを昆虫、樹木や野草を
ゆっくりと観察します。

★日時 8月17日 (土)

集合 10 時 ~ 解散 12 時半頃

★場所 春日公園・旧売店 前

会員 200 円、一般 300 円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：小野 仁

TEL 080-8396-5471 [小野の携帯]

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

8/18（日）9/15（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：8:00～11:00（夏時間）
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松）

8/25（日）9/22（日）
久末ダム探鳥会（福岡町）
時 間：8:00～11:00（8月のみ夏時間）
集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

9/1（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：8:00～11:00（夏時間）
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

9/14（土）
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時 間：9:00～12:00
集 合：ポート乗り場前
問合せ：092-573-1827（森健児）

9/8（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

9/3（火）
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：音楽堂ステージ側（第5P）
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

8月はお休みです。



福岡植物友の会

9/15（日）九重オルレコース
（大分県）
問合せ：佃 昇（092-662-2983）
要予約
参加は有料 詳細はお問合せ下さい

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

9/7（第1土曜日）
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:30
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200 円
参加された方には新しい「自然観察マップ」も差し上げます。
ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で
[検索](#)
観察会や様々な生きもの情報を載せています

ニイニイゼミ翅 三国・松永

ツバメ 三国・松永

和白干潟を守る会 主催

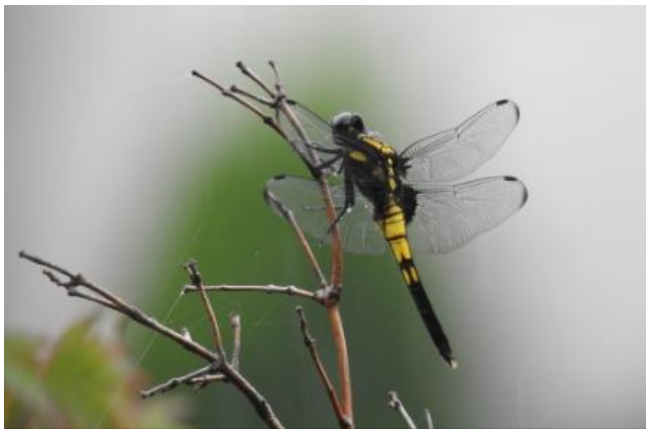
三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

8/24（土）
定例会議
時 間：10:30～13:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

8/24（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

2019年7月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、7月1日（旧暦5月29日）～7月31日（旧暦6月29日）までのデジカメ日誌です。



7月3日（旧暦6月1日） 筑紫野市天拝坂
雨上がりの朝、玄関先のモミジの梢にオオシオカラトンボ♀が、じっと体を休めていた。翅基部の黒褐色斑が大きい。沖縄ではここが薄くて小さかった。



7月9日（旧暦6月7日） 春日市白水公園
ホルトノキの花である。花卉の先が細い糸状になっているのが面白い。雌雄同株。名前は平賀源内がオリーブと間違えて、「ポルトガルの木」と呼んだからという。



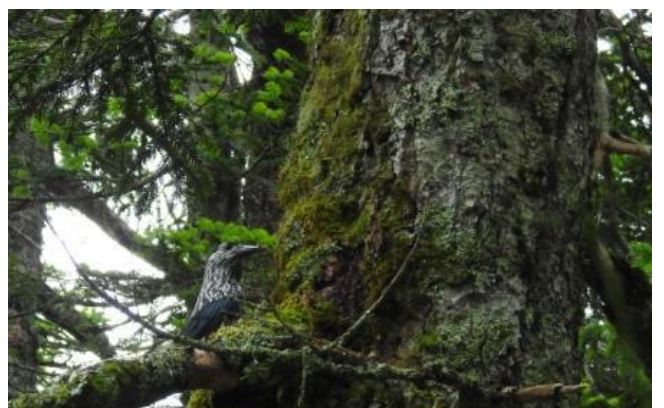
7月10日（旧暦6月8日） 筑紫野市天拝坂
庭のホトギスにルリタテハの幼虫が現れた。1週間ほど前に成虫を見かけたのが産卵だったのかな。



7月5日（旧暦6月3日） 筑紫野市天拝坂
家の石垣に貼り付いていたクロフオオシロエダシャク。幼虫はシキミを食べるらしいが、家(うち)にはない。



7月9日（旧暦6月7日） 筑紫野市天拝坂
家が植えたミニトマトに巨大な幼虫が現れた。大きさは約10センチはありそう。クロメンガタズメ老熟幼虫緑色型である。成虫は以前現れたことがあるので、この付近では普通にいるのかもしれないが、野外越冬の確認が無いようなので、長距離飛来かもしれない。



7月30日（旧暦6月28日） 岐阜県高山市新穂高千石園地
シラビソなどの森が広がる中に、ホシガラスの家族がいた。5羽以上いるようだ。肩羽の深い青色はカササギとよく似ている。樹幹の地衣や苔を盛んにつついていた。

くすのき 2019年8月号投稿原稿-本のむし
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

春日公園「自然観察会」報告 2019年7月20日(土) 10:00~12:30

天気 雨 参加者数 4人 担当者と報告 荒牧源実(ナイス福岡)

テーマ 野草の開花状態しらべ

コース 自然あそび館～自然風庭園～調整池周辺～自然あそび館

- 内容
- ・ 雨が降り続いていた。調整池の地面に ハシボソガラス39羽、ムクドリ13羽 いつもより多く見られた。
 - ・ 野草の観察は、花の開花の様子から、以下の様に分けた

咲き始め 6種

満開 8種

終わりごろ 15種

不明 5種

合計34種

イネ科の植物も含めたので種類が多くなった。 不明の種は 咲き始めもあるし、終わりがけもある植物です。

- ・ シロソウメンタケは、今回一番個体数が多く見られた面白い形をしたキノコです



シロソウメンタケ



アメリカスズメノヒエ



オオバコ (白くて小さい花)



観察

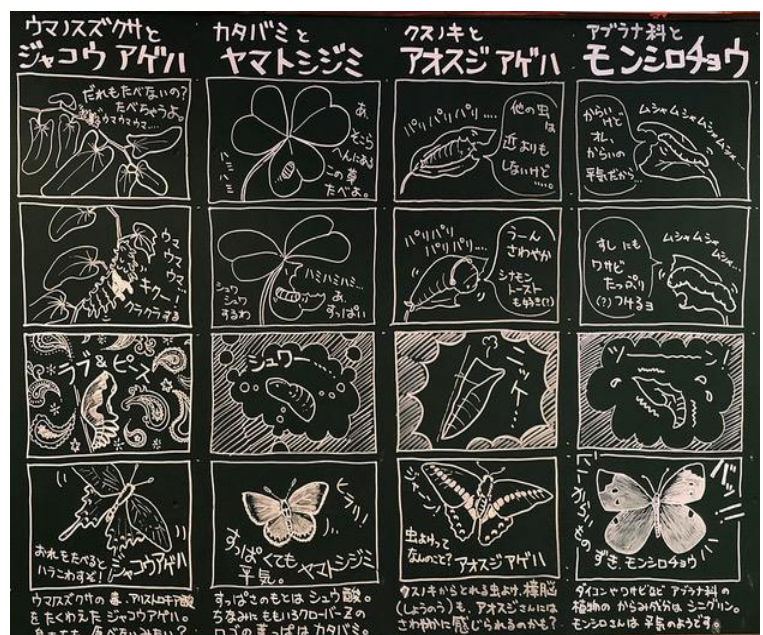
会員からの投稿

福岡市西区にある「かなたけの里公園」の管理棟の廊下に、手作りの大きな黒板があります。そこに年がわりで生物多様性にちなんだ絵やメッセージを描いています。これまで、生きものの進化や森里川海などをテーマにしてきましたが、2019年度分は「チョウと食草」の関係です。

四コマ漫画風にまとめましたので、もしお立ち寄りの際はご覧ください！(しが)

皆さん、機会があればご覧ください。
子ども達の夏の研究の参考になるかも。

写真:かなたけの黒板(抜粋) ⇒



<自然しらべ 2019 アリの見分け方研修会(仮称)>

日本各地で「外来種のアリの侵入と定着」が問題となりつつあります。今回、自然観察指導員を中心とした「地域で自然保護の中核となる人材」に対し、一般的なアリからヒアリまで、アリの見分け方をマスターする研修会を、寺山守先生(理学博士)の指導で開催し、アリをみつめる目を増やします。

開催日時：9月23日(月曜日) 10:30~15:00

開催場所：海のきりえ館(和白干潟を守る会事務所)

講師：寺山守氏(理学博士)

集合：海のきりえ館(和白干潟を守る会事務所) 10:30

参加費：無料(予定)

申込み：要申込 定員20名

雨天時：雨天実施

持ち物：飲み物、弁当、ルーペ(お持ちの方のみ)、筆記用具

共催：和白干潟を守る会

協力：福岡県自然観察指導員連絡協議会

主催：公益財団法人日本自然保護協会



※暑さが予想されます。帽子などで紫外線対策などをお願いします。

<当日のタイムスケジュール>

10:30	海のきりえ館に集合
10:30~12:00	「アリ」についての室内スライドレクチャー、標本レクチャー
12:00~13:30	休憩(昼食)
13:30~14:30	「アリの観察会」、和白干潟などでフィールドレクチャー
14:30~15:00	研修会のまとめ、質疑応答
15:00	終了・解散(海のきりえ館で解散)

<研修会運営>

- ・研修会では基本的には「生きものの採取」は実施致しません。
- ・研修会の様子は、日本自然保護協会の会報等で公開することがあります。
- ・当日撮影した写真は、会報やホームページ等で公開する場合があります。
- ・アリの様子をみるため、スコップにて土を数センチ掘る可能性がございます。



挿絵 会員の木村陽子

自宅周辺に、溜め池が数か所あります。それぞれ溜め池を含めた公園として整備されている。運動不足解消と生きもの観察を兼ねて2時間ほど歩いている。ザックには、小型双眼鏡、野帳、筆記具、拡大と接写の機能を持ったデジカメ、水筒、折りたたみ傘など、それから自分が歩いた位置が記録できる機能を持ったスマホです。

先日も約2時間（6km）を散策した。普通に歩くと4km／1時間が一つの目安なのですが、興味のある野鳥、トンボ、蝶に出会うと、観察と撮影に力が入ります。当然、これが目的ですから。

画像は、チョウトンボ め・ショウジョウトンボめ・オオシオカラトンボめ・オオバン・バン・アオビタイトンボめ。



◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2019年度会費が、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費：2000円 郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

定例会に参加してみませんか？

次回の定例会は、令和元年9月13日（金）午後6時より事務局で行います。令和元年9月号の原稿は、9／10（火）までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

編集後記 2019年07月の定例発送会は、藤川渡、山本弘子、鶴田義明、田村耕作が参加。

田村の仕事場を、7月末に、自宅に移しました。改めて引っ越しは大変ですね。

引っ越しのための準備、特に、物や書類など捨てきれない性格

の私は、10年余りの仕事、観察指導員の活動で溜まって

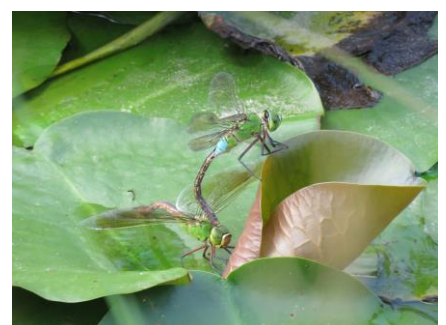
しまったものがたくさんありました。

移動先の自宅、限られた空間に収められるものは、限りがあるので、この機会にエイ、ヤーと大蛇をふるしかありません。

引っ越し後、自宅で、今まで通り活動できるように、今試行錯誤中です。活動する中で、何とかできるようと思いつつ。そんな中で、汗をかきながらの散策で、今楽しみなのがトンボの撮影です。大型のトンボ類、飛ぶ姿を見かけても、なかなか写せません。

先日、ギンヤンマの交尾中を撮影でき、少し満足しています。

田字草



城南区のため池公園にて 撮影